

浦田長民 ながのぶ 儒者、神道家。天保十一年二月一日伊勢國度會郡生
れ、明治二十八年十月二十六日歿（一八四〇—一九三）。幼名鐵二郎、通稱上
佐、織部、穀太郎、穀夫。號改亭、改亭。齋藤拙堂等の詩を學ぶ。幕
末に江戸、京都志士と交友あり、天誅組の道にこゝ幕吏に捕はれ禁錮、慶
應二年解獄。明治元年度會府御用掛、翌年度會縣少參事、更に伊勢神
宮少宮司となり、神嘗祭等の祭式を制定。のち宮内省御用掛、度會、
鈴鹿等の郡長を務めた。

著書に『神典採要』（明治六年十一月神宮教院藏版、三重・加藤長平
發兌）、『大道本義』全三冊（明治十年一月神宮教院藏版、博愛本社
發兌）等。

